

平成26年度

事務事業評価表 A (平成25年度の実績評価)

記入年月日
平成 26 年 4 月 1 日

事務事業名		学校活性化支援非常勤講師配置事業				区分		事務事業No.	30122718		
						<input type="checkbox"/>	分野別主要事業	課内No.	18		
		政策体系上の位置付け				<input type="checkbox"/>	未来プロジェクト事業	主管課			
政策体系	総合計画の施策名	301	学校教育の充実			<input type="checkbox"/>	市長マニフェスト事業	所属部	教育委員会		
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			<input type="checkbox"/>	合併建設計画事業	所属課	学校教育課 27		
	施策名	1	学校教育の充実			<input type="checkbox"/>	新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	課長名	宮山 孝夫		
	基本事業名	2	教育内容の充実			<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業	グループ	総務グループ			
		財務会計上の位置付け				事業期間		担当者名	高庭 美代子		
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計		<input type="checkbox"/>	単年度のみ		
	1	10	1	2	2	事務局事業		<input checked="" type="checkbox"/>	単年度繰返し (18 年度～)		
法令根拠						<input type="checkbox"/>	期間限定複数年度(年度～ 年度)				

[Do] 1. 事務事業の現状把握(その1)

期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

(1) 事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標										
手段	① 事務事業の概要(事務事業の内容)					② 担当者が行う業務の内容、実際に行った主な活動				
	<p>国の少人数指導加配(常勤講師)や小規模校加配のない小中学校に対し、学校活性化支援事業による非常勤講師(TT非常勤講師)を配置し、チーム・ティーチングによるきめ細かな学習指導を行う。</p> <p>平成22年度より、TT特別配置事業は廃止され、「学校活性化事業」として同様のTT非常勤講師が配置されることとなった。2名雇用のうち、1名は県の補助対象となる(10/10)</p> <p>平成25年度より県の補助が廃止され、1名の雇用となる。</p>					<p>非常勤講師任用事務手続き、毎月の勤務状況確認、賃金等の支払事務、事業計画書提出、県への補助金申請、実績報告書の提出。平成25年度配置校(兩引小・谷貝小の2校へ1名配置)</p>				
目的	③ 対象(誰、何を対象にしているのか)					⑦ 対象指標(対象の大きさを表す指標)				
	配置校の児童生徒					ア 配置校の児童数				
	④ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)					⑧ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				
結果	⑤ 結果(どんな結果に結び付けるのか)					⑨ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)				
	少人数指導講師等の未配置校の解消					ア 少人数指導講師(県費対象も含む)の配置学校の割合				
						%				

(2) 指標値の推移										
区分		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	期間限定 総投入量
⑥活動指標	ア	校	2	2	2	2	2	2	2	
	イ	人	2	2	1	1	1	1		
	ウ									
⑦対象指標	ア	人	368	340	291	261	263	263	263	
	イ									
	ウ									
⑧成果指標	ア	時間	2,030	2,030	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	
	イ									
	ウ									
⑨上位成果指標	ア	%	75	68	75	75	75	75	75	

(3) 投入量(事業費)の推移															
投入量	事業費	財源内訳	千円	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度					
		国庫支出金	千円												
		県支出金	千円	1,849	1,849										
		地方債	千円												
		使用料・手数料	千円												
		その他	千円												
	一般財源	千円	1,825	1,909	1,823	1,871	1,871	1,871	1,871						
	事業費計(A)	千円	3,674	3,758	1,823	1,871	1,871	1,871	1,871						
	人件費	人	1	1	1	1	1	1	1						
	述べて業務時間	時間	80	52	56	56	56	56	56						
人件費計(B)	千円	243	152	164	164	164	164	164							
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,917	3,910	1,987	2,035	2,035	2,035	2,035							
事業費の内訳	25年度事業費実績(千円)			26年度事業費 予算(千円)			27年度事業費 計画(千円)			28年度事業費 計画(千円)			29年度事業費 計画(千円)		
	報酬	1,775	報酬	1,777	報酬	1,777	報酬	1,777	報酬	1,777					
	労災保険料	5	労災保険料	6	労災保険料	6	労災保険料	6	労災保険料	6					
	旅費	43	旅費	88	旅費	88	旅費	88	旅費	88					
	合計	1,823	合計	1,871	合計	1,871	合計	1,871	合計	1,871					

(4) 当該年度の実施内容											
※ 下記に該当する事業は年度ごとの事業内容を記入する				26年度の事業内容		27年度の事業内容		28年度の事業内容		29年度の事業内容	
分野別主要事業 未来プロジェクト事業 市長マニフェスト事業 合併建設計画事業											

事務事業名	学校活性化支援非常勤講師配置事業	事務事業No.	30122718	所属課	学校教育課
-------	------------------	---------	----------	-----	-------

[Do] 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 国の緊急雇用創出特別交付金を活用して開始された。平成17年度からの県の補助事業(経費の1/2が市費)により実施している。
 状況の変化:平成17年度から県の補助事業(経費の1/2が市費)により実施している。また平成21年度をもって「TT特別配置事業」は廃止され、「学校活性化支援事業」として同様の活動が行われることとなった。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 少人数学級指導に対する要望が多い中で、学校関係者からの期待は高い
 年々、非常勤講師の確保が難しい状況となっている。

[See] 2. 評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ティームティーチングでの指導により、きめ細かな学習指導を行うことができ、学力の向上に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？)(法定受託事業はその名称) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 児童生徒の学力向上に対する支援は、市の責務である。
	③対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 児童生徒の学力向上を図るため、TT非常勤講師の配置は妥当である。意図も現状において妥当である。
有効性	④成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 適切な学習指導に努めている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 児童生徒一人一人に対するきめ細かな指導を行うことができなくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段が無い 他に類似事業はない。 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 県の補助金が廃止され、報酬は市の条例等で定められている。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない TT非常勤講師の管理業務であり、削減の余地はない。また、非常勤講師の確保も困難である。
公平性	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 児童生徒の教育環境の充実を図るため、子どもに応じたきめ細かな学習指導は適切なものである。

[Plan] 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国の少人数指導加配措置のない小中学校に対し、チームティーチングによるきめ細かな学習指導を行うため、桜川市学校活性化支援非常勤講師取扱要項に基づき、TT非常勤講師を任用している。現状では、県費負担による少人数加配枠の常勤講師について、全校に配置できていないこともあり、今後においても事業の継続と、TT非常勤講師の複数校への1校1名の配置を予算要望していきたい。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(3)-1 改革改善策	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○	×																		
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

[Check] 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>